

ハンディターミナル
(BHT8000)
容器充填入力
操作手引書



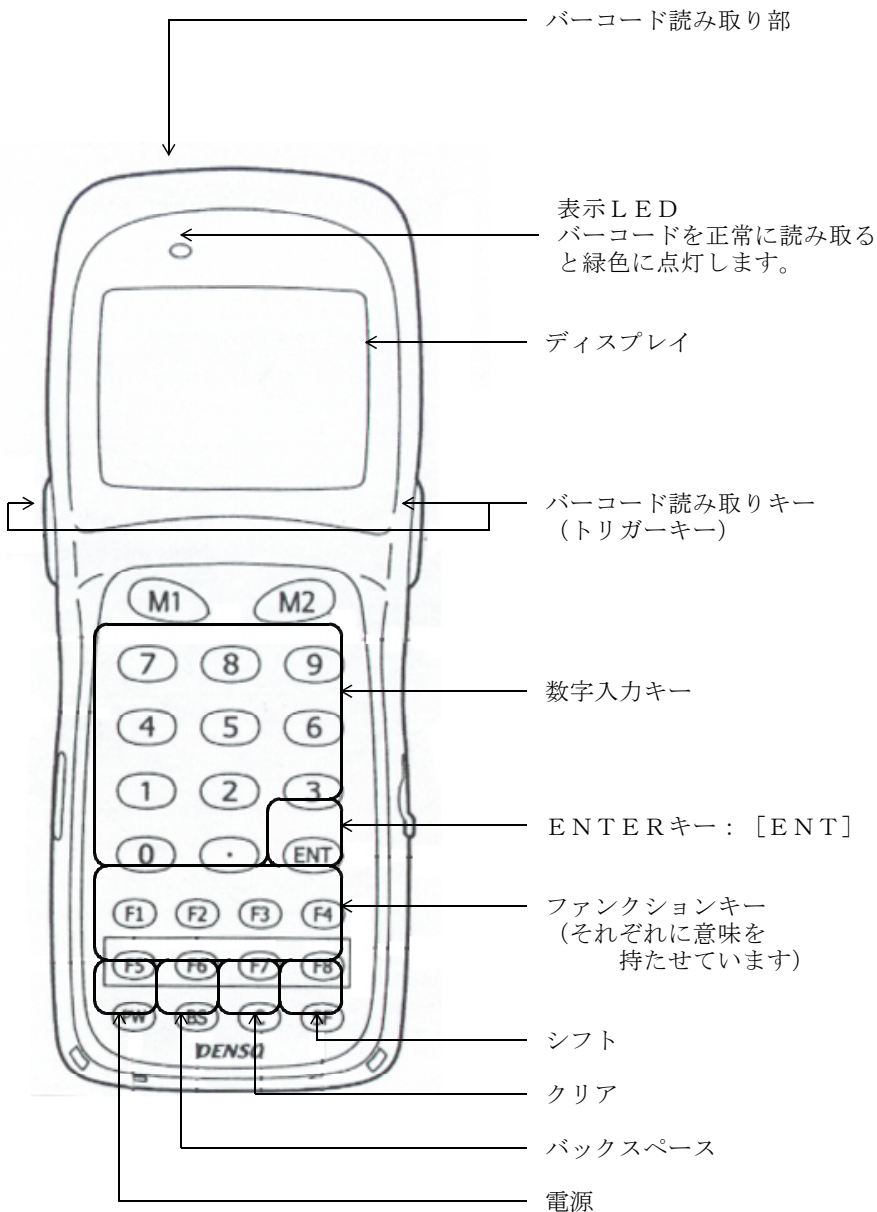
株式会社 アクセス

2007年 7月 6日 第1版

目 次

1. 初期設定（使用前の準備）
2. 充填データの入力
 2. 1 充填データの入力
 2. 2 容器番号重複
3. ハンディからホストへ送信（F 3）
 3. 1 送信手順
 3. 1 データの削除（F 5）
4. 初期設定の項目
 4. 1 販売店コードの入力（F 4）
 4. 2 読み取りバーコードの種別指定（F 6）
 4. 3 担当者コードの入力（F 7）
5. 補足説明（ホストでの処理）
 5. 1 販売店が??で入力されたときは、
 5. 2 充填量は、次のように計算する
6. 日付の設定

各部の説明



1. 初期設定 (使用前の準備)

はじめて使用するとき、プログラムを入れ替えたときなどには、以下の設定が必要です。

(1) 容器ラベルのバーコード情報の登録

容器ラベルのバーコードの種類、開始桁位置、桁数を設定します。
設定方法は4. 2章を参照してください。

(2) 販売店コードの登録

登録方法は4. 1章を参照してください。

(3) 担当者コードの登録

登録方法は4. 3章を参照してください。

2. 充填データの入力

2.1 充填データの入力

ハンディの電源を入れます。

準 備 中

充填入力

V070706

'07/07/17

販売店：23

10

担 当：0009

本充填

これを「初期画面」といいます。

下記の項目が表示されます。

- 1) 現在の年月日
- 2) プログラムのバージョン
- 3) 営業所コード
- 4) 担当者コード
- 5) 現在までに充填入力した容器の本数

表示を確認して [ENT] を押すと、次の画面に進みます。

日付が正しくないときは、6章を参照して訂正してください。

「初期画面」では、次のファンクションキーを使用できます。

F 3 : ハンディからホストへデータ送信

F 4 : 販売店コードの入力

F 5 : 充填データの削除

F 6 : 容器ラベルのバーコード情報設定

F 7 : 担当者コードの入力

容器番号？

0 0 0 3 4 0 4

〔M1〕キーを押してバーコード（容器ラベル）を読みとります。

ラベルがなければ、キー入力もできます。

容器番号が表示されます。

指定した容器番号が既に登録されている場合については、2. 2章を参照してください。

0 0 0 3 4 0 4
残量 (K g) ?
2. 0 5

容器番号が表示されますので、確認後残量 (K g) を入力します。

容器番号が誤っている場合は、〔F8〕を押します。

訂正する場合は、〔F8〕を押すと残量入力画面に戻ります。

容器番号=0003404
残量(Kg)=002.05
OK?
YES=ENT / NO=F8

充填入力の確認画面です。

入力した内容に誤りがなければ、〔ENT〕を押します。

訂正する場合は、〔F8〕を押すと残量入力画面に戻ります。

データ書込中

〔ENT〕 (=YES) を押すと、左記のようなメッセージが表示された後、次のバーコードの入力に戻ります。

7 件目を
書込ました

2.2 容器番号の重複

容器番号重複！
容器番号=5000010
残量 =002.00
1:残量訂正 9:削除

指定した容器番号が既に登録されている場合は、左の画面が表示されます。

2行目に既に登録されている容器番号と残量が表示されます。確認して次の処理を選択して下さい。

1) 残量訂正

[1] [ENT] と入力すると、残量入力画面に進みます。

残量を誤って登録してしまったときに使用します。

2) 削除

[9] [ENT] と入力すると、表示されているデータを削除します。

容器番号を誤って登録してしまったときに使用します。

3. ハンディからホストへ送信 (F3)

3.1 送信手順

- ハンディの電源を入れ通信ボックスに正しく乗せます。
- ホストの受信プログラムを起動します。これは、先に起動しておきます。

充填入力	V070706
'07/07/17	
販売店：23	10
担 当：0009	本充填

押しまを通信ボックスに乗せ [F3] を

送信しますか？
YES=ENT / NO=F8

ホストに送信して良ければ、[ENT] を押します。

送信開始

送信中 XX 件

送信件数が表示されます。
XXは充填本数

送信終了 XX 件

送信が終わるとブザーが鳴って知らせます。
[ENT] を押すと「初期画面」に戻ります。

3. 2 データの削除 (F5)

充填データをホストに送信した後に、削除します。

もし、未送信データがあれば、その旨表示されます。

充填入力	V070706
'07/07/17	
販売店：23	10
担当：0009	本充填

「初期画面」で [F5] を押します。

未送信データあり 削除しますか？ YES=ENT / NO=F8
--

未送信データがあるときは、1行目に「未送信データあり」が表示されます。

[F8] を押すと「初期画面」に戻ります。

9 → 5 → 1 で削除します

9 5 1 [ENT] と入力すると、削除を開始します。

[F8] を押すと、削除を実行せずに「初期画面」に戻ります。

削除中 . . .

削除完了

削除が完了しました。

[ENT] を押すと、「初期画面」に戻ります。

4. 初期設定の項目

4.1 販売店コードの入力

これから処理する販売店コード（2桁の数字）を入力します。容器が販売店ごとになっていないならば、99を指定します。99は、画面上では??として表示されます。これは、販売店が不定であることを示します。

充填入力	V070706
'07/07/17	
販売店：??	10
担当：0009	本充填

「初期画面」で [F 4] を押します。

販売店コード？
12

販売店コードが既に登録されていれば表示されます。

販売店コードを2桁以内で入力し、[ENT]を押します。

販売店を不定（99）としたときは、配送管理との連携によりどの得意先から引き上げたか判断し、その得意先の先頭2文字を販売店コードとして処理します。

4.2 読み取りバーコードの種別指定（F6）

容器ラベルのバーコード種別と読み込み開始桁、読み取りデータ長を指定します。2種類まで指定できます。

1度入力すれば、変更がない限り実行する必要はありません。

充填入力	V070706
'07/07/17	
販売店：23	10
担当：0009	本充填

「初期画面」で [F 6] を押します。

容器ラベル

1 2. 0 2. 0 7

容器ラベルのバーコード情報は下記のように指定します。

X, YY, ZZ

X : バーコード種類

1 : CODE 3 9 2 : NW 7

YY : 読込開始桁

ZZ : 容器番号桁数

[注] 現在は、CODE 3 9とNW 7だけがサポートされています。NW 7を使用するときは、コードの前後に a が記録されていますので、必ず2桁目から使用するようして下さい。

4. 3 担当者コードの入力

1度入力すれば、変更がない限り実行する必要はありません。

充填入力

V070706

「初期画面」で [F 7] を押します。

' 07/07/17

販売店 : 23

1 0

担 当 : 0009

本充填

担当者コード?

0 0 0 1

担当者コードが既に登録されていれば表示されます。

担当者コードを4桁以内で入力し、
[E N T] を押します。

5. 補足説明 (ホストでの処理)

5.1 販売店が??で入力されたときは

- ① 容器Noで、容器マスターを参照する。
容器マスターには、現在取り付けされている得意先コードが記録されている。
- ② 容器マスターに記録されている得意先コードで、販売店を特定する。
得意先コードの先頭2文字が販売店コードになる。

として、販売店コードを決定する。

5.2 充填量は、次のように計算する

充填量 = 容器容量 - 残量

- ① 容器容量 = 容器マスターより ... 容器マスターに必須の項目
- ② 残量 = ハンディより

6. 日付の設定

SYSTEM MENU
1:EXEC PROGRAM
2:DOWNLOAD
3:UPLDDE
4:SET SYSTEM
5:TEST
6:VERSION

電源オフの状態で、[SF]と[1]を押し
ながら[PW]を押すと、左の画面が表示さ
れます。

[4] [ENT] と押します。

SET SYSTEM
1:EXECUTE PROGRAM
2:DISPLAY
3:DATE/TIME
4:BARCODE
5:COMMUNICATION
6:KEY 7:RESUME
8:DEFRAG

[3] [ENT] と押します。

SET DATE/TIME
01/11/09 17:15
YY/MM/DD hh:mm

現在設定されている日付と時間が表示されま
す。

修正する場合は、その下に日付と時間を指定
して[ENT]を押します。

YY : 西暦の下2桁 hh : 時間
MM : 月 mm : 分
DD : 日

SET DATE/TIME
01/12/24 10:15
/ / :

0 1 1 2 2 4 1 0 1 5 [ENT] と入力する
と、左の画面が表示されます。

日付と時間が正しければ、電源をオフしま
す。